

## 2012年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2012年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2012年度秋季総合分科会の際の9月19日（水）14時50分より、九州大学にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第17巻3号の会報147でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介として、ご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載しています。

（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。）

### 特別賞

緒方芳子（東大数理准教授）

業績の題目：非平衡量子統計力学と作用素環

量子系の統計力学の研究をしています。個人的には、問題によって、物理がモチベーションであったり、数学がモチベーションであったり、様々ですが、その中でなにか有意義な数学、あるいは物理的貢献ができるといいな、と思っています。

米田剛（北大理助教）

業績の題目：微分方程式に対する実解析的手法

自分自身の研究を深化させつつ、多少研究分野の違う方々と精力的に共同研究を進めていることが、implicit に今回の受賞につながったと感じております。今後は学生の育成などにも尽力したいと思っています。この場を借りて、常日頃から支えて下さっている先生方々に深く感謝申し上げます。

### 奨励賞

佐藤康彦（京大理 PD）

業績の題目：C\*環の自己同型の研究

C\*環、特にその自己同型の分類を目標に研究しています。線形代数や微積分学等の初等的な技術が鍵となり、無限次元の複雑な数学が解き明かされる様に魅力を感じます。建部賢弘が表した職人の様な数学を目指し腕を磨いていきたいです。

白石大典（京大数理研 PD）

業績の題目：ランダムウォークの交叉に関する研究とその応用

確率論を専門として研究を行っています。特にランダムウォークの軌跡の幾何学的構造の解明を目指しています。まだまだ理解の進んでいない部分が多く残っていますが、少しでもその解明に貢献できればと思っています。

高田了（京大理 PD）

業績の題目：流体力学に現れる基礎方程式の数理解析

非圧縮性流体に関連した非線形偏微分方程式について研究しています。最近では回転座標系における Coriolis 力の分散効果に興味を持っています。この場をお借りして、常日頃からお世話になっている方々に厚く御礼を申し上げます。

東谷章弘（阪大情報博士 2 年生）

業績の題目：整凸多面体の組合せ論的および代数的研究

主に整凸多面体の研究を行っています。格子点の個数の数え上げや、対応する可換環やトーリック多様体の性質を調べたりと、様々な方面に興味があります。

この場を借りて、お世話になっている先生方や友人に厚く御礼申し上げます。

馬昭平（名大多元数理助教）

業績の題目：K3 曲面のモジュライ空間の研究

充実した教育を受けてきたおかげでこのような賞をいただくことができました。

特に吉川謙一先生、宮岡洋一先生、河澄響矢先生に感謝しております。専門は代数幾何、特に特殊な多様体のモジュライに興味を持っています。